天保の改革

各地で百姓一揆や打ちこわしが起こり、幕府の支配がゆらいできた状況のなかで…

1841年、老中の水野忠邦が昔の享保・寛政の両改革にならって、政治の改革にあたった。

水野殿、
改革悪いが人は良い
1841

これを天保の改革という。

幕府の権威がさらに低下した最悪な改革

改革の内容

- 倹約令を出し、ぜいたくや華美な風俗を取り締まった。
  （倹約令を出したのは享保・寛政の両改革と同じ）

- 株仲間を解散させた。

  物価を上げているのは株仲間のせいであるとしたから、株仲間を解散させることで物価を下げようとした。
  （実際には商品不足により物価が上がっていたので無意味）

- 都市にいた百姓をもとの村へ帰した。
  （無宿者や浪人も江戸を追われ農村の治安が悪化した）

- 江戸、大阪周辺の大名や旗本の領地を幕府の直轄地にしようとした。

大名や旗本の強い反対にあい、結局改革は失敗に。